

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	山本 智子	(****年**月**日)
本 籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(医療情報学)	
学位授与番号	乙第25号	
学位授与日付	平成27年9月25日	
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当	
論 文 題 目	チーム医療の成熟過程に関する研究 -褥瘡対策検討チームの事例研究より-	
審 査 委 員	教授 秋山 祐治	教授 宮原 勅治
	教授 若宮 俊司	

博士論文内容の要旨

医療チームの成熟過程において、成熟度を測定・可視化することによって、医療チームを客観的に評価することができる。情報処理分野で開発された組織成熟度モデル(CMMI)とタックマンモデルの指標を利用し、実際の医療チームの成熟の過程を追跡した。その結果、医療分野においてもチームの成熟度はこれらの指標で測定することができた。また成熟度レベルが異なれば、その中で発生する動乱期に対する解決の方法に変化が見られた。チームの育成段階によって、出現するリーダーシップスタイルにも変化が見られた。組織成熟度が Level-4 に達したチームにおいては、チームの改善に向かうプロセスが見られた。

博士論文審査結果の要旨

本論文は、チーム医療、医療組織の成熟度を「客観的な尺度で測定する」手法を示し、医療チームを12年間にわたり追跡し、詳細な観察とインタビューならびに議事録等の資料解析により実証した論文である。このような長期かつ詳細に医療チームを追跡した観察研究は類を見ない。本論文は事例報告として著されているが、医療組織に対し情報処理分野で培われた尺度・測定手法を援用したところに新規性がある。さらに、本論文に倣い、各医療組織の成熟度が共通の尺度で測定され病院間の比較が可能になれば、チーム医療はもとより、病院組織そのものの改善に寄与することが想定され価値がある。よって、博士論文にふさわしいと結論した。